

平成22年8月11日

各位

トモニホールディングス株式会社
株式会社徳島銀行
株式会社香川銀行

トモニホールディングスグループの平成23年3月期第1四半期決算概要について

トモニホールディングス株式会社（本社：香川県高松市、社長：柿内慎市、以下「トモニHD」という。）は、平成23年3月期第1四半期連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である株式会社徳島銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：柿内慎市、以下「徳島銀行」という。）及び株式会社香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：遠山誠司、以下「香川銀行」という。）の単体業績等につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニHD

(1) 平成23年3月期第1四半期（平成22年4月1日～平成22年6月30日）連結業績

当社は、平成22年4月1日に徳島銀行と香川銀行の共同株式移転により設立されました。当社グループは、経営統合により、より強固な経営基盤、幅広いネットワークを実現し、お客さま第一主義の経営思想をさらに高め、地域のお客さまとともに成長する金融グループを形成することを目指し、統合効果を最大限発揮すべく努力しております。

当第1四半期連結会計期間は、両行による共同施策や事務・システムの統合などを通じた統合効果の抽出に向け諸施策を積極的に実行いたしました。

連結経常収益は、貸出金利息等資金運用収益及び役務収益の拡大に努めた結果、15,491百万円となりました。連結経常費用は、与信関係費用が低水準であったことなどから、12,541百万円となりました。その結果、連結経常利益は2,949百万円となりました。また、企業結合等による負ののれん発生益39,832百万円を特別利益に計上したことにより、連結四半期純利益は42,061百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2兆5,025億円となり、純資産は1,284億円となりました。

なお、主要な勘定の残高につきましては、譲渡性預金を含む預金等の残高は2兆3,223億円、貸出金は1兆7,688億円、有価証券は4,888億円となりました。

			平成23年3月期 第1四半期
【連結】	損益・諸比率	経常収益	15,491百万円
		コア業務粗利益	12,122百万円
		コア業務純益	4,278百万円
		経常利益	2,949百万円
		四半期純利益	42,061百万円
	主要勘定残高 (末残)	総資産	25,025億円
		預金等（譲渡性預金を含む）	23,223億円
		総預り資産	25,905億円
		貸出金	17,688億円
		有価証券	4,888億円

(2) 平成23年3月期第2四半期累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）及び通期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）連結業績予想

平成22年5月14日に公表しております平成23年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、本日公表の「平成23年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」により、以下のとおり修正しております。

①修正内容

a) 平成23年3月期第2四半期累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	中間純利益
平成23年3月期 第2四半期累計期間	30,650	1,800	40,832

b) 平成23年3月期通期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
平成23年3月期 通	61,950	5,550	42,782

②修正理由

当社は平成22年4月1日に徳島銀行と香川銀行の共同株式移転により設立され、株式移転の会計処理で、企業結合会計基準（パーチェス法）を適用すること等により、「負ののれん」39,832百万円が発生いたしました。平成23年3月期第1四半期において、その償却（一括償却）による特別利益を計上したことにより、中間純利益及び当期純利益の予想数値を修正するものであります。この特別利益は、当社の設立に伴う会計上の利益であり、今年度のみ発生するものであります。

2. 徳島銀行

(1) 平成 23 年 3 月期第 1 四半期 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日) 単体業績

当第 1 四半期の損益状況は、経常収益は、利回りの低下等により貸出金利息及び有価証券利息配当金が減少し資金運用収益が減少したこと等により、前年同期比 846 百万円減少 (11.7%減少) して 6,326 百万円となりました。コア業務粗利益は、上記の要因と同様に、資金利益が減少したこと等により、前年同期比 275 百万円減少 (4.8%減少) して 5,386 百万円となりました。銀行本業の収益を示すコア業務純益は、人件費及び物件費の減少に伴い経費が減少しましたが、資金利益の減少額が大きく、前年同期比 214 百万円減少 (10.2%減少) して 1,864 百万円となりました。

経常利益は、不良債権処理損失及び有価証券減損額が前年同期に比べて大幅に減少したこと等により、前年同期比 50 百万円増加 (11.0%増加) して 503 百万円となりました。四半期純利益は、前年同期に発生した税効果による利益押上げ要因がなくなったこと等により、前年同期比 690 百万円減少 (61.7%減少) して 427 百万円となりました。

当第 1 四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を合わせた預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比 256 億円増加 (2.2%増加) して 11,665 億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年同期末比 312 億円増加 (2.4%増加) して 12,917 億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業向け貸出等に積極的に取り組みましたが、前年同期末比 124 億円減少 (1.4%減少) して 8,543 億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取り組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図ったこと等により、前年同期末比 10,565 百万円減少 (26.1%減少) して 29,888 百万円、総与信に占める割合は 3.45%となりました。

		平成 23 年 3 月期 第 1 四半期		前年同期比
【単体】	損益・諸比率	経常収益	6,326 百万円	△846 百万円
		コア業務粗利益	5,386 百万円	△275 百万円
		コア業務純益	1,864 百万円	△214 百万円
		経常利益	503 百万円	50 百万円
		四半期純利益	427 百万円	△690 百万円
	不良債権	金融再生法開示債権額	29,888 百万円	△10,565 百万円
		総与信に占める割合	3.45%	△1.16%
		与信関連費用	467 百万円	△755 百万円
	主要勘定残高 (末残)	総資産	12,448 億円	223 億円
		預金等 (譲渡性預金を含む)	11,665 億円	256 億円
		総預り資産	12,917 億円	312 億円
		貸出金	8,543 億円	△124 億円
		有価証券	2,311 億円	180 億円

(2) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日) 及び通期 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) 単体業績予想

平成 22 年 5 月 14 日に公表しております平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の単体業績予想につきましては、修正ございません。

① 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間	12,750	850	400

② 平成 23 年 3 月期通期 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
平成 23 年 3 月期 通	25,500	2,850	1,900

3. 香川銀行

(1) 平成23年3月期第1四半期(平成22年4月1日～平成22年6月30日)単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、利回りの低下等による貸出金利息の減少や株式等売却益の減少等により、前年同期比257百万円減少(3.3%減少)して7,379百万円となりました。一方、預金利息の減少や金融派生商品費用の減少等により、コア業務粗利益は前年同期比656百万円増加(11.4%増加)して6,372百万円、銀行本業の収益を示すコア業務純益は前年同期比623百万円増加(42.9%増加)して2,073百万円となりました。

また、不良債権処理損失が大幅に減少したこと等により、経常利益は前年同期比975百万円増加(123.1%増加)して1,767百万円、四半期純利益は前年同期比583百万円増加(59.1%増加)して1,569百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を合わせた預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比118億円増加(1.0%増加)して11,587億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年同期末比223億円増加(1.7%増加)して13,017億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業向け貸出等に積極的に取り組みましたが、前年同期末比208億円減少(2.2%減少)して9,238億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図ったこと、並びに当第1四半期より部分直接償却を実施したこと等により、前年同期末比9,223百万円減少(15.7%減少)して49,485百万円、総与信に占める割合は5.26%となりました。

		平成23年3月期 第1四半期		前年同期比
【 単 体 】	損益・諸比率	経常収益	7,379百万円	△257百万円
		コア業務粗利益	6,372百万円	656百万円
		コア業務純益	2,073百万円	623百万円
		経常利益	1,767百万円	975百万円
		四半期純利益	1,569百万円	583百万円
	不良債権	金融再生法開示債権額	49,485百万円	△9,223百万円
		総与信に占める割合	5.26%	△0.86%
		与信関連費用	△254百万円	△1,179百万円
	主要勘定残高 (末残)	総資産	12,632億円	158億円
		預金等(譲渡性預金を含む)	11,587億円	118億円
		総預り資産	13,017億円	223億円
		貸出金	9,238億円	△208億円
		有価証券	2,558億円	321億円

(注) 香川銀行では、当第1四半期より部分直接償却を実施しております。

(2) 平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)及び通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)単体業績予想

平成22年5月14日に公表しております平成23年3月期第2四半期累計期間及び通期の単体業績予想につきましては、修正ございません。

①平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日) (単位:百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
平成23年3月期 第2四半期累計期間	14,300	800	600

②平成23年3月期通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
平成23年3月期 通	29,000	2,400	1,000

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部	高橋 邦明	TEL: 087-812-0102
株式会社徳島銀行 企画部	藤井 仁三	TEL: 088-656-1118
株式会社香川銀行 総合企画部	近石 政義	TEL: 087-812-5132